

思いやりのある生徒
 確かな学力をもつ生徒
 心身ともにたくましい生徒



とっだい

平戸市立



生月中学校

自信と誇りもて歩め

がんばれ受験生!
 入試に寄せて



立春まであとわずか。年明けには強い寒波が押し寄せましたが、最近、日によっては暖かく、春がそこまですべてきているように感じられます。

さて、連日、私立等の入学試験が続いています。来週には、公立高校の特別選抜が迫っています。すでに進路が内定したという人もいますが、全員の進路が決まるまで、まだまだ長い戦いが続きます。受験のために空いた机は、今戦っている個人がいることを示していますが、受験は団体戦であるとよく言われます。下に、人は、なぜ助け合わなければならないのか、自分だけ良ければいいという考え方がなぜダメなのか、数値で示してみました。

サルの子レンマ

サルは集団で生活する。捕食者(敵となる肉食獣)に対しては様々な反応がある。捕食者を見つけると、仲間知らずのサルもいれば、自分だけ助かろうと黙って逃げるサルもいる。例えばあなたをA、相手をBとした場合、あなた(A)が捕食者に襲われる確率を次のように見積もって計算してみる。

- 気づいたら黙って逃げる→襲われる確率は0%
- 気づいたら知らせて逃げる→少し目立つので襲われる確率10%
- 知らされて逃げる→逃げ遅れるので襲われる確率は25%
- 知らされない→気づかないので襲われる確率は50%

①A、Bともに他に知らせる気がない場合、気づかない立場もあるので $\frac{0+50}{2} = 25\%$

②Aは知らせて逃げ、Bは黙って逃げる場合 $\frac{10+50}{2} = 30\%$

③A、Bがお互い知らせ合う関係の場合 $\frac{10+25}{2} = 17.5\%$



④Aは黙って逃げ、Bは知らせる場合 $\frac{0+25}{2} = 12.5\%$



②が1番危険。私は知らせてあげるのに、相手は知らせてくれない。知らせるのがばかばかしくなる。④が数値としては一番良いが、よく考えると、私は黙って逃げるけれど、あなたには知らせてほしいというのがうまくいくわけがない。すると当然他に知らせることをしなくなり①になる。襲われる確率は④の倍だ。そこで、お互いに信頼関係を結び、知らせ合うようにすると③の17.5%に抑えられる。これが現実的にベストだが、サルの場合、襲われる確率は25%であるらしい。自分のことしか考えない集団はやがて...

この「サルのジレンマ」という話は、私たちに、助け合う関係が、最良の結果を生むというのを教えてくれます。受験は個人の戦いですが、互いに励まし合い、支え合う団体戦の構えが必要です。そして「ピンチはチャンス」の言葉通り、試験を乗りこえた先に、自分の未来が切り開かれると信じましょう。ライバルは自分自身。ともに挑むのは仲間。これからの正念場です。

ちよここと

アドバイス



最後まで計画的に

残された時間は同じ。どう使うかはそれぞれ。君が決める。

睡眠不足は禁物

効率が悪くなる。無理をしたつて効果は上がらない。

緊張は良い証拠

パフォーマンスを上げるには適度な緊張が有効。時が来れば終わる。入試後のリラックスタイムや高校生活を思い描いてみると気が楽に。